

9月 8日(日) ショートメッセージ

聖書 使徒言行録 19章11節～20節 (新約 251頁)

メッセージ 「エフェソにて」

このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名は大いにあがめられるようになった。

(使徒言行録 19章17節)

(1) 第二次宣教旅行でパウロは、当初、現在のトルコにあるアジア州の首都エフェソに行く計画を立てていましたが、聖霊に導かれたため、ギリシアに船で渡ると、先にこの地で活動しました。そしてパウロはギリシアでの活動を終え、コリントで出会ったプリスキラとアキラの夫妻と共に船に乗ると、当初計画していたエフェソへ行き、エフェソの会堂でユダヤ人たちと交流を持ちました。人々がパウロにもっと滞在するよう願いましたが、パウロは御心ならば戻ってくると言ってエフェソから船で旅立ち、カイサリアに上陸するとエルサレムを経て、宣教旅行の出発地であるアンティオキアに戻りました。こうして、パウロの第二次宣教旅行は終わりました。

しかし、パウロはアンティオキアでしばらく過ごしたあと、第三次宣教旅行に出発しました。出発すると彼は第二次宣教旅行と同じく内陸をたどりましたが、今度はそのままエフェソへと行きました。

(2) パウロがいない間、エフェソに残ったプリスキラとアキラは、エフェソに来て福音を雄弁に語っていたユダヤ人のアポロと出会い、彼を育てるとコリントに送り出しました。

アポロが送り出されたあと、エフェソにパウロが到着しました。パウロはエフェソでの活動を再開しました。最初の三ヶ月はユダヤ人の会堂で神の国について論じ、福音を伝えようとしたのですが、一部の人たちがかたくなに拒否し、パウロを非難したた

め、場所を移し「ティラノという人の講堂」で毎日福音を伝えました。そんなことが二年間続き、ユダヤ人、ギリシア人の区別無く多くの人たちが主の言葉を聞くこととなりました。

パウロはエフェソで目覚ましい奇跡も行いました。するとそれを知ったユダヤ人の祈禱師の中には、悪霊に取り憑かれている者に対して試しに「パウロが述べ伝えているイエスによって、お前たちに命じる」と言う者が現れました。ユダヤ人の祭司長スケワの七人の息子たちも魔術師でした。彼らも同じように悪霊に対して命じました。ところが、悪霊に取り憑かれている男は彼らに飛びかかると、彼らを押さえつけ、ひどい目にあわせました。このことはエフェソの住民たちに知れ渡りました。そして人々は恐れを抱き、大勢の人たちが信仰に入り、自分の悪行を告白しました。魔術を行っていた者たちも、魔術の書物を焼き捨てました。こうして、主の言葉はますます勢いよく広がりました。

(3) この箇所では、エフェソでのパウロの活躍ぶりを伝えながらも、聖書は魔術師たちのエピソードのあと「このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名は大いにあがめられるようになった」(17節)と伝えます。パウロ自身の働きのみならず、神ご自身がこの地で宣教を行われたことを、この箇所はわたしたちに伝えているのです。(多田玲一牧師)